

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R2-15号)

令和2年9月25日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年9月24日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

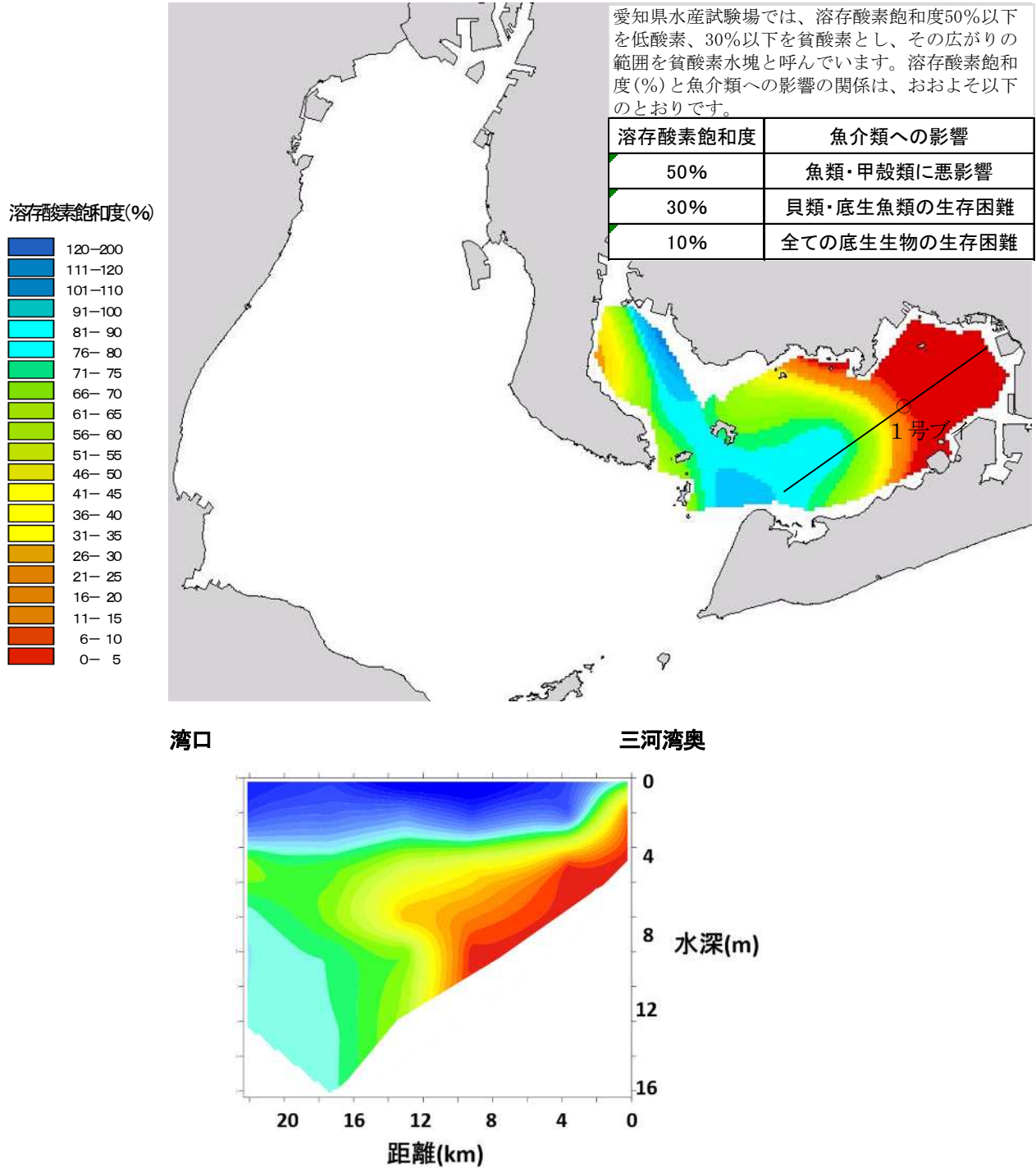


図1 三河湾(9月24日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

9月24日の調査結果を図1に示しました。貧酸素水塊は前回調査では渥美湾の広い範囲に分布していましたが、今回の調査では湾奥側に偏って分布していました。また渥美湾の鉛直分布図では、湾口側で酸素濃度の高い海水が底層に分布しており、底層に外海水が流入していたことが伺われます。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、下層の貧酸素水塊の厚みが増していく様子が観測されました（図2）。これも外海水の流入が影響している可能性が考えられます。

なお、知多湾では西部で貧酸素水塊が確認されました。

表底層間での水温格差がほとんど無くなっており、下層の貧酸素水が湧昇しやすく、苦潮が発生しやすい状況となっています。貧酸素水塊の周辺で強風が一定方向に連吹する場合は注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.1~26.1	26.5~29.9
底層	24.0~25.5	29.9~32.5

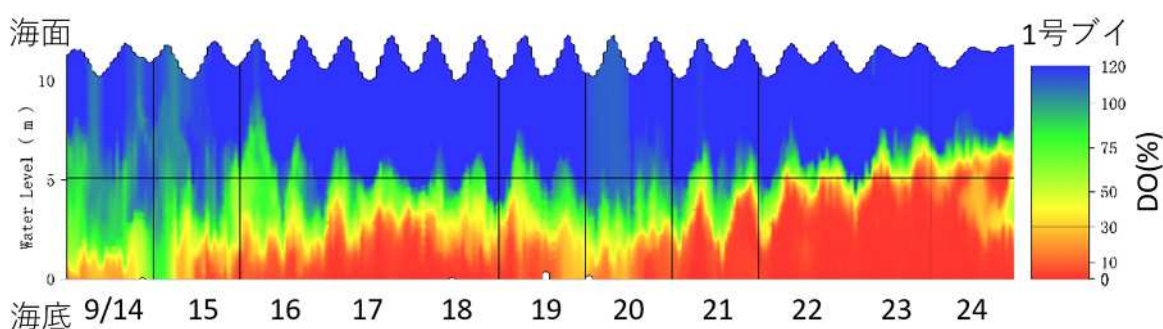


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

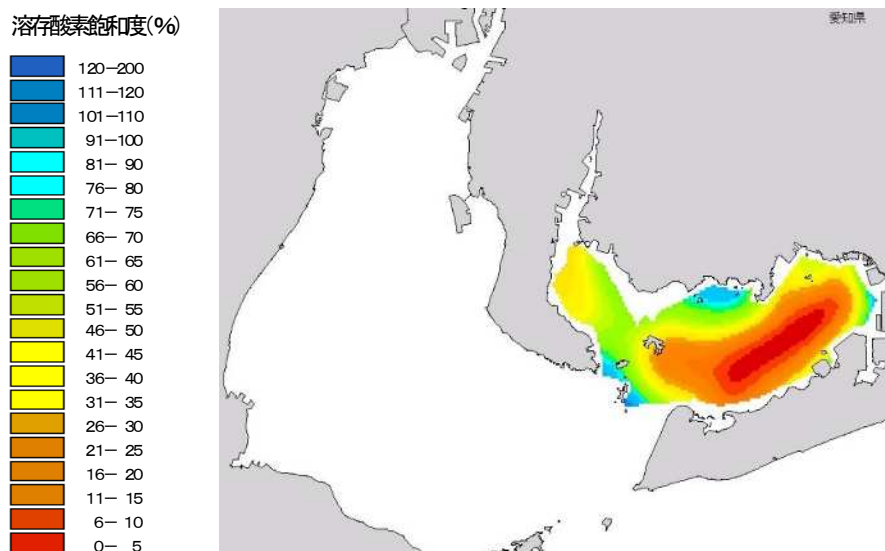


図3 令和2年9月16日（三河湾）